

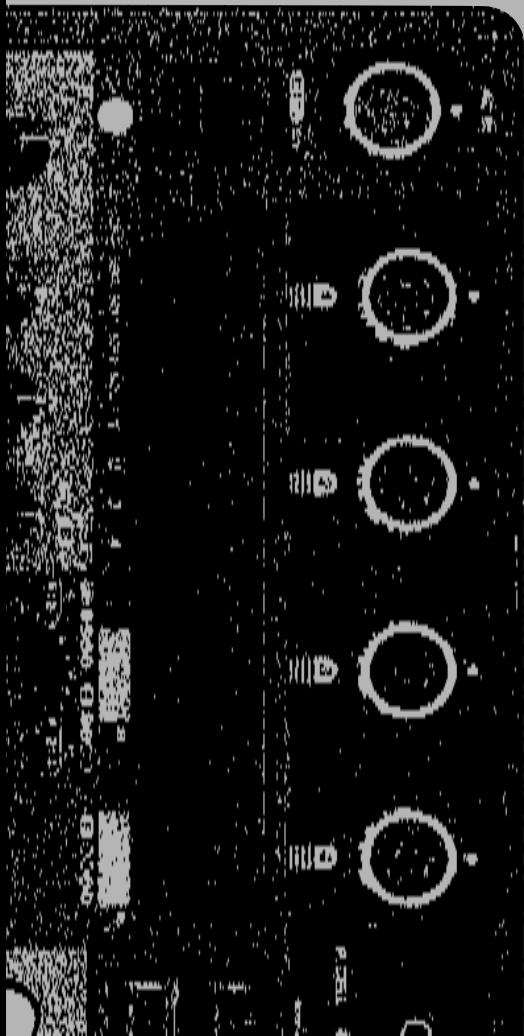
COMET

# CX-124T/CX-244T

## 取扱説明書

■ ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

■ また保証書とともに大切に保存してください。



# はじめに

---

このたびは、CX-124T/CX-244Tストロボ電源部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は従来機の安定したハード技術を基に、操作性を重視したデジタル技術をプラスして次のような特徴をそなえたハイグレード機です。

## ●目的に合わせて選べる3つの出力モード

出力分配を「均等」、「2:1」、「1:1:1」と目的に応じて出力モードをワンタッチで選ぶことができます。

## ●3回路独立調光で4灯をコントロール

3回路をそれぞれに1/6EVづつFULL～1/8まで、タッチキーにより19段階の出力調整が可能です。

## ●コントロールバリエーター

3回路をそれぞれに出力設定した後、出力比を変えずに全体を1/6EVステップで調光することができます。

## ●ストロボ・モデリング完全連動調光

出力バリエーター・出力モードセレクターおよび使用灯数の各要素をマイクロコンピューターが瞬時に演算し、常にストロボ光量にモデリングランプが連動するようコントロールします。

## ●設定データを保持するコントロールロック機能

ご使用に際して設定した出力データをワンタッチでロックできる親切設計です。

なお、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえ、ご活用ください。

# 付属品

---

- CX-ACコード(3.5m) 1本
- CX-シンクロコード(5m) 1本
- ヒューズ  
CX-124Tの場合【ストロボ用】15A 3本 【モデリングランプ用】4A 1本  
CX-224Tの場合【ストロボ用】15A 3本 【モデリングランプ用】10A 1本
- 取扱説明書
- 保証書
- ご愛用者登録カード

# 目次

---

1. 安全のため特にご注意ください	1～4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6～9
4. 操作手順	10～12
5. 出力モードセレクター	13～14
6. 出力バリエーター	15
7. コントロールバリエーター	15
8. ダンプ警報	16
9. 充電モード	17
10. モデリングランプモード／スイッチ	18
11. サウンドモード	19
12. フォトセル	19
13. 過熱警報	20
14. 不発光警報	20
15. 充電異常警報	21
16. ヒューズ切れ警報とヒューズ交換	21～22
17. 保証とアフターサービス	23
18. 仕様	24



# 1 安全のため特にご注意ください

---

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

---

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



○記号は、禁止行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



## 警 告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。

十分注意をしてください。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



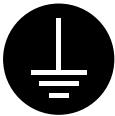
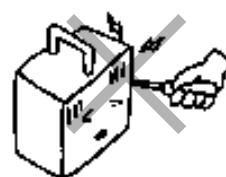
- 電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



- 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- 感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。





## 警 告



- 使用中のヘッドに水滴などがかかるないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。  
取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。



- ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



- 振発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧は AC100V(50/60Hz) です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

# ⚠ 注意



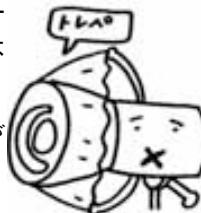
- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

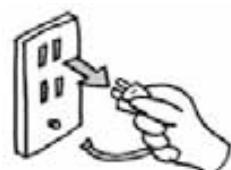
外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。



コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。



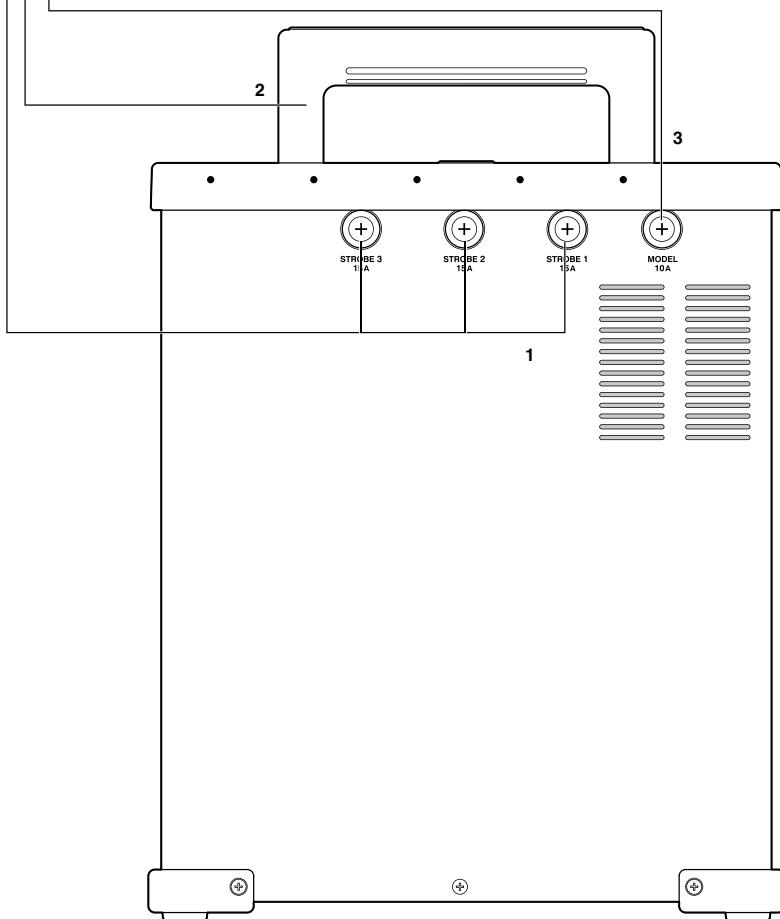
## 2 使用上のご注意とお願い

- 本機の定格入力電圧はAC 100V±10% (50／60Hz) です。定格電圧以外での使用は故障の原因となります。
- 調光機に接続しての使用はしないでください。本機および調光機を破損する恐れがあります。
- ストロボ電源部は使用されないときでも1カ月に1～2度はFULLにして通電をしてください。  
特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発行をさせないでください。長時間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。
- 本機の適合ヘッドはCXタイプヘッドです。  
ご使用にあたっては最大入力定格をご注意ください。  
ただし、CX-12バイチューブヘッド、および、レクト-126ヘッドについては使用灯数に制限があります  
☞ 詳細は17ページを参照ください。
- 赤外シンクロ装置(当社製)の受信器は、室内的蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。
- 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置(当社製)で使用するときは、それぞれの電源部に受信器をセットしてください。



### 3 各部の名称とはたらき

名称	はたらき	参照頁
1 ストロボヒューズ (STROBE 1/2/3)	ストロボ回路を保護します。 ヒューズ定格をお守りください。	21~ 22頁
2 把 手	スペアヒューズが収納されています。	22頁
3 モデリングランプヒューズ (MODEL)	モデリングランプ回路を保護します。 ヒューズ定格をお守りください。	21~ 22頁

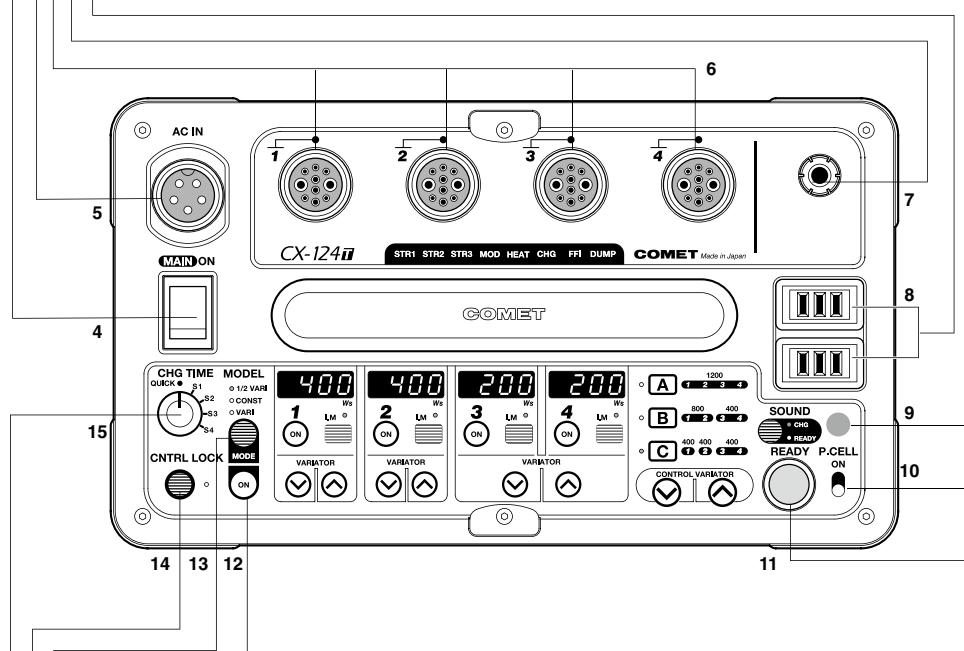


●ここに示す図はCX-124電源部です。

### 3 各部の名称とはたらき

●ここに示す図はCX-124電源部です。

名称	はたらき	参照頁
4 メインスイッチ(MAIN)	AC電源スイッチです。使用後は必ず「OFF」にしてください。	10頁
5 ACコネクター(AC IN)	ACコード(付属品)でストロボ電源部とACコンセントを接続します。	10頁
6 出力コネクター(1・2・3・4)	ヘッドを接続します。着脱時はメインスイッチを「OFF」にしてください。	10頁
7 シンクロソケット	ホーンジャックタイプのシンクロコードを接続します。	12頁
8 シンクロソケット	CXタイプのシンクロコード(付属品)を接続します。	12頁



名称	はたらき	参照頁
12 モデリングランプスイッチ	出力コネクター1~4に接続されたモデリングランプを「ON/OFF」します。	18頁
13 モデリングランプモードセレクター(MODEL)	モデリングランプを「調光」「100%点灯」に切り替えます。 ●1/2VARIモードはCX-124T電源部のみに設けられています。	18頁
14 コントロールロックスイッチ(CNTRL LOCK)	設定したデータを保護するスイッチです。このスイッチを「ON」にすると操作パネル上の各機能は操作してもはたらきません。	
15 充電モードセレクター(CHG TIME)	AC電源の容量に合わせて充電回路を切り替えます。 充電時間が変わります。	17頁

名称	はたらき	参照頁
9 フォトセル	他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。	19頁
10 フォトセルスイッチ (P・CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。	19頁
11 レディーランプ (READY) テスト発光スイッチ	充電が完了すると点灯します。 点灯している部分を軽く押すと発光します。	12頁

## 警報表示部

名称	はたらき	参照頁
16 不発光表示 (FFI)	不発光が生じたときは警報「FFI」表示と該当する出力表示が点滅してブザーで知らせます。	20頁
17 調光ダンプ表示(DUMP)	調光操作で出力を下げたとき、設定した出力と実際の出力が異なることを出力表示とダンプ警報(DUMP)表示の点滅で知らせます。	16頁

STR1 STR2 STR3 MOD HEAT CHG FFI DUMP

21 | 20 | 19 | 18 |

16 17

18 充電異常表示 (CHG)	所定の時間内に充電が完了しないときは警報(CHG)表示が点滅してブザーで知らせます。 内部回路に異常が考えられますから点検が必要です。	21頁
19 過熱表示 (HEAT)	内部電子部品が所定の温度を超えると、警報(HEAT)表示が点滅してブザーで知らせます。	20頁
20 モデリングランプヒューズ 切れ表示	モデリングランプヒューズが切れたとき、警報(MOD)表示が点滅してブザーで知らせます。 ●モデリング消灯時はブザーが鳴りませんのでご注意ください。	21頁
21 ストロボヒューズ切れ表示 (STR1/2/3)	ストロボヒューズが切れたとき、該当する警報(STR1・STR2・STR3)表示が点滅してブザーで知らせます。	16頁

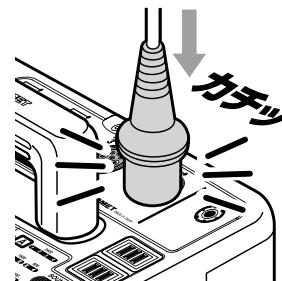
### 3 各部の名称とはたらき

名称	はたらき	参照頁
22 出力表示	設定した出力値を表示し、調光を下げたときや不発光時は点滅して、警報表示になります。	13~14頁
23 出力モードセレクター	各ストロボ出力コネクターへの出力配分を「モードA(均等)」「モードB(2:1)」と「モードC(1:1:1)」に切り替えます。 ⒶⒷⒸタッチキーを2秒以上押すと切り替わります。	13~14頁
22	23 警報表示部	24
28	27	26
24 サウンドモードセレクター (SOUND)	「CHG」=充電中音、「READY」=充電完了音、または「OFF」に切り替えます。	19頁
25 コントロールバリエーター (CONTROL VARIATOR)	出力バリエーター1~4で設定された全出力を1/6EVステップで比率を変えずに調光します。	15頁
26 各灯モデリングランプスイッチ(I.M)	各出力コネクターに接続されたモデリングランプを「ON/OFF」します。	
27 各灯スイッチ	各出力コネクターに接続されたストロボ、モデリングランプを「ON/OFF」します。	17頁
28 出力バリエーター (VARIATOR)	出力をFULLから1/8まで、1/6EVステップで調光します。光量を下げるときはVキー、上げるときはHキーをそれぞれ押してください。	15頁

## 4 操作手順

### ■ 1. ヘッドコードをストロボ電源部へ接続してください。

ヘッドを準備し、ヘッドコードをストロボ電源部の出力コネクターに"カチッ"と音がするまで、十分に差し込んでください。

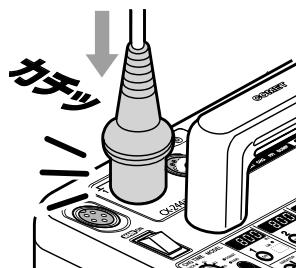


### ■ 2. ACコードを接続してください。

ストロボ電源部のメインスイッチを「OFF」にしてから、ACコードをACコネクター (AC IN) に接続します。

"カチッ"と音がするまで十分に差し込んでください。

その後、ACプラグをACコードをコンセントへ差し込みます。



### ■ 3. 充電モードを選択してください。

供給するAC電源容量に応じて、充電モードセレクター (CHG TIME) でクリック「QUICK」またはスロー「S1～S4」を選択してください。

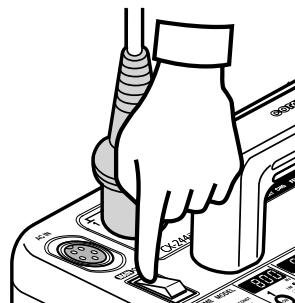
☞ 詳細は17ページを参照ください。



### ■ 4. メインスイッチを「ON」にしてください。

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。

“ピー”と鳴って、すべての表示が一度点灯してから所定の表示になり、充電が始まります。



## 4 操作手順

### ■ 5. モデリングランプの点灯とモードの選択をしてください。

モデリングランプスイッチを「ON」にします。その後でモードセレクター (MODE) を押し、点灯モードを選択します。

☞ 詳細は18ページをご参照ください。

MODEL

○ CONST  
○ VARI



### ■ 6. サウンドモードを選択してください。

サウンドモードセレクター (SOUND) で、充電中「CHG」または充電完了「READY」を選択します。不要の時は「OFF」にできます。

●警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。

☞ 詳細は19ページをご参照ください。

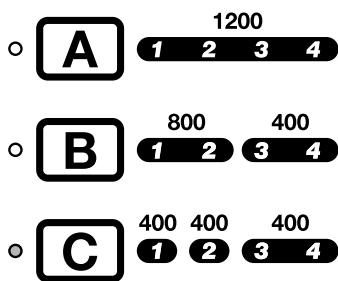
SOUND



### ■ 7. 出力モードを選択してください。

撮影状況により、出力モードセレクターで出力コネクターへの出力配分を「モードA(均等)」、「モードB(2:1)」、「モードC(1:1:1)」を選択します。

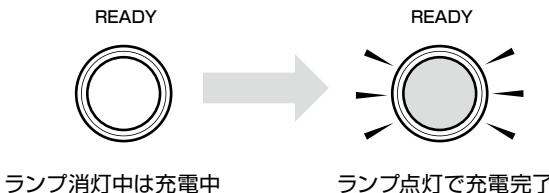
☞ 詳細は13~14ページをご参照ください。



●ここに示す図はCX-124電源部です。

## ■ 8. 充電の完了。

充電が完了するとレディーランプ(テスト発光スイッチ兼用)が点灯し、発行準備が完了します。



## ■ 9. テスト発光をしてください。

テスト発光スイッチ(レディーランプ兼用)(READY)を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

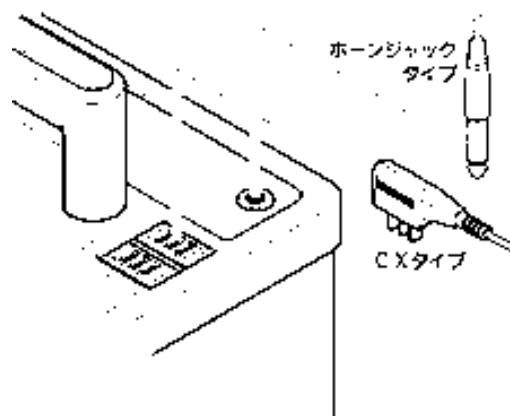
## ■ 10. カメラとの同調を確認してください。

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

- 本番撮影をされる前に実際のフィルムもしくはインスタントフィルム等で、カメラの同調テストをお奨めします。

### 【ご注意】

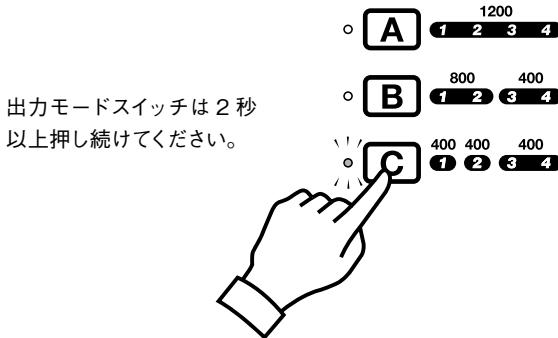
- カメラまたはレンズにM/X接点があるときは、必ずX接点を使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を1/160~1/30で使用してください。



## 5 出力モードセレクター

CX-124T/224には3種類の出力モードがあります。目的に応じて3つのモードの中から選択してください。

このスイッチの操作は誤って押したことにより容易にデータを失わないため、2秒以上押し続けなければ新たなモードにはなりません。モードを変更したときは新しいモードの最大出力値を表示しますので新たに出力を設定し直してください。



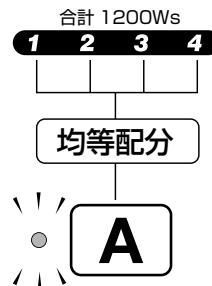
### ●モードによる出力配分(最大出力)

出力モード	電源部	出力コネクター			
		1	2	3	4
A	124T	1200Ws			
	244T	2400Ws			
B	124T	800Ws		400Ws	
	244T	1600Ws		800Ws	
C	124T	400Ws	400Ws	400Ws	
	244T	800Ws	800Ws	800Ws	

以下のモード表示はCX-124T電源部です。CX-244T電源部は出力値が2倍になります。

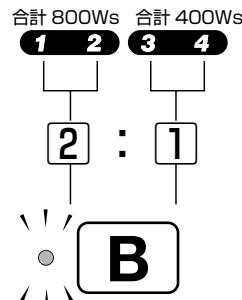
### ■ モードA

出力モードセレクターでモード「A」を選択すると、出力コネクター1・2・3・4へ均等にストロボ出力が配分されます。  
出力表示は、「出力 ÷ 使用灯数」の値がそれぞれに表示されます。



### ■ モードB

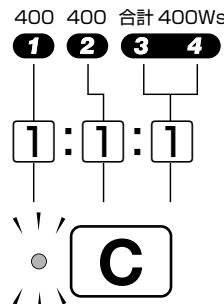
出力モードセレクターでモード「B」を選択すると、出力コネクター1・2ブロックと3・4ブロックに分かれて、2:1の割合でストロボ出力が配分されます。



### ■ モードC

出力モードセレクターでモード「C」を選択すると、出力コネクター1／2／3・4の3ブロックに分かれて、1:1:1の比率でストロボ出力が配分されます。

- 各モードとも、ヘッドが接続されているコネクターのみ出力値を表示し、接続されていないコネクターは「-----」で表示されます。
- 接続されても1～4各灯スイッチを「OFF」にしたときは「0」で表示されます。
- 出力表示が点滅しているときは設定値と異なる値ですから注意してください。



☞ 詳細は16ページ「ダンプ表示」項をご参照ください。

## 6 出力バリエーター

出力バリエーター (VARIATOR) は、出力モードセレクターで選択された「A・B・C」いずれかのモードに対応するコネクターの出力をFULL～1/8まで調光します。

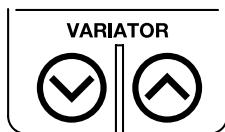
出力を上げるときはバリエーターキー↑を押してください。1回押す毎に1/6EVづつ上がります。

出力を下げるときはバリエーターキー↓を同じく押すことで1/6EVづつ下がります。

また、調光範囲が広いときはキーを押し続けると連続変化しますから速く設定値を呼び出すことができます。

出力を下げる操作をすると出力表示とダンプ警報(DUMP)表示が同時に点滅をしますので一度発光をしてください。充電が完了すると設定した出力になります。

☞ 詳細は16ページ「ダンプ表示」項をご参照ください。



## 7 コントロールバリエーター

各出力を設定したのち、使用中の全ヘッドの出力をそのままの比率でアップまたはダウンすることができます。

出力を上げるときはバリエーターキー↑を押してください。1回押す毎に1/6EVづつ上がります。

出力を下げるときはバリエーターキー↓を同じく押すことで1/6EVづつ下がります。

出力を下げる操作をすると出力表示とダンプ警報(DUMP)表示が同時に点滅をしますので一度発光をしてください。充電が完了すると設定した出力になります。

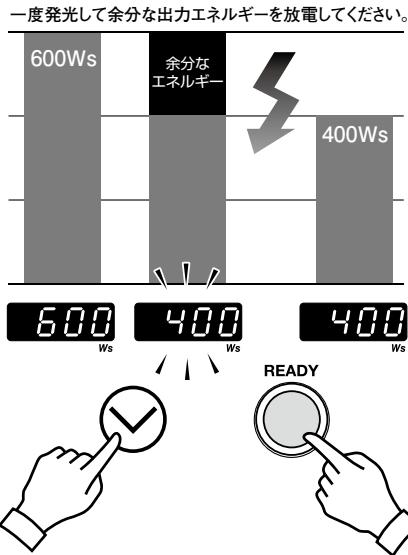
いずれかの出力が最大値または最小値に達すると変えることができません。

このときは出力表示が点滅してブザー（ピッピッ）で知らせます。



## 8 ダンプ警報

ダンプ警報(DUMP)表示は設定出力と実際の出力エネルギーが異なることを点滅で知らせる警報機能です。警報が出たときは一度発光してください。充電が完了すると設定した出力値になります。



なお、この警報は次の操作をした時にはたらきます。

### ■ バリエーターで出力を下げたとき。

- 一度発光をすると設定出力になりますが、この時の発光は設定データと関係のない出力で発光しますから注意してください。

### ■ 複数灯使用をしていて各灯スイッチで使用灯数を減らしたとき。

- 2灯以上で使用をしていて各灯スイッチで使用灯数を減らしたとき、バリエーターで出力を下げなくても出力表示、ダンプ警報(DUMP)表示が点滅することがあります。これは異常ではありません。

この時も発光することで設定出力になります。

## 9 充電モード

充電モード(CHG TIME)はAC電源容量の多少に応じて「QUICK」・「S1」・「S2」・「S3」・「S4」の各モードを選択します。特に「S4」モードではポータブル発電機の使用が可能です。

モード	CX-124T	CX-244T	AC電源容量		発光部の条件
QUICK	1.1秒	1.8秒	30Aで連続使用	124T	ヘッド4灯・ハロゲン100W付
				244T	ヘッド4灯・ハロゲン100W付
				124T	ヘッド2灯・ハロゲン100W付
				244T	ヘッド2灯・ハロゲン250W付
S1	2.1秒	3.7秒	20Aで連続10回	124T	ヘッド2灯・ハロゲン100W付
				244T	ヘッド2灯・ハロゲン250W付
S2	4.6秒	8.7秒	20Aで連続使用	124T	ヘッド2灯・ハロゲン100W付
				244T	ヘッド2灯・ハロゲン250W付
S3	12.0秒	23.0秒	20A2台連続使用	124T	ヘッド2灯・ハロゲン100W付
				244T	ヘッド2灯・ハロゲン250W付
S4	約33.0秒	約65.0秒	500W発電機	124T	ヘッド1灯・ハロゲン100W付
				244T	ヘッド1灯・ハロゲン100W付

- 発電機は正弦波形のものを使用してください。
- 充電中にキー操作を行うと所定の充電時間より長くかかることがあります。

### ■ ヘッドについてのご注意

本機で使用できるヘッドのうち下表のヘッドには使用灯数に制限があります。制限を超えての使用はストロボ電源部を壊します。

これはモードの選択に関係なく制限されますのでご注意ください。

商品名	最大使用灯数
●CX-12バイチューブヘッド	2
●レクト126ヘッド	1
●レクト126ヘッドCX2400Ws	1

# 10 モデリングランプモード／スイッチ

モデリングランプモード（MODE）は、点灯モード「MODE」の選択と、接続されている全モデリングランプの一括「ON/OFF」をする2つの機能があります。

## ■ 1/2VARIのランプが点灯しているとき

- 「1/2VARI」はCX-124T電源部のみに設けられたモードです。

このモードはCX-244Tと併用するとき、CX-124T電源部に接続されているモデリングランプの明るさをこの機能で1/2にして、CX-244T電源部のモデリングランプの明るさと合わせます。

### MODEL

- 1/2 VARI
- CONST
- VARI



## ■ CONSTのランプが点灯しているとき

出力バリエーターに関係なく、モデリングランプが100%の明るさで点灯します。

## ■ VARIのランプが点灯しているとき

出力バリエーター、出力モードでの光量設定と接続されたヘッドの灯数により、ストロボ出力に対応した明るさになります。

## ■ モデリングランプスイッチ「ON」

接続されているすべてのモデリングランプを「ON/OFF」します。

# 11 サウンドモード

## ■ サウンドモード

充電中、または充電完了を音で知らせます。キーを押して選択してください。選択したモードはランプの点灯で表示します。

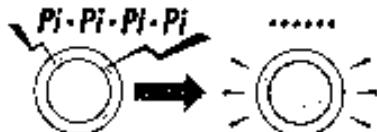


## ■ 充電中(CHG)

充電中ブザーが鳴り、完了すると止まります。

## ■ 充電完了(READY)

充電完了と同時にブザーが鳴り充電が完了したことを知らせます。



## ■ OFF

充電状況を確認するためのブザー音を止めます。

「OFF」はランプの表示がありません。

●警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。

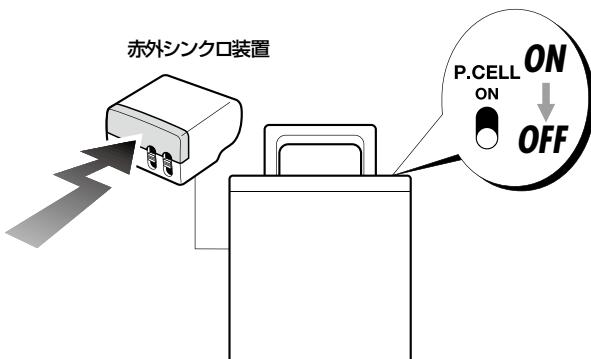


# 12 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光させるとき、スイッチ「ON」にしてください。

## 【ご注意】

- 赤外シンクロ装置を使うときは必ずフォトセルスイッチを「OFF」にしてください。
- フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると同調しないことがあります。



## 13 過熱警報

長時間の連続発光などにより、内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、過熱警報(HEAT)表示が点滅し、同時にブザーの連続音で知らせます。

このときはなるべく早く使用を中止してください。

過熱警報が出た後 20 回の発光ができますが、以後の充電は停止します。

- 警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。



### ■警報の解除と放熱

メインスイッチ(MAIN)をいったん「OFF」にし、再び「ON」にするか、またはパネル上の何かのキーを操作することで警報音は止まりますが、引き続き表示の点滅は続き過熱状態を知らせます。冷却を早めるため電源スイッチを「ON」にしたままで、発光をさせずに放熱してください。

ストロボ電源部内の温度が、所定の温度以下になると表示が消えて使用できる状態になりますが、完全に内部温度が下がったわけではありませんので、連続発光は避けてください。



## 14 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、不発光警報(FFI)表示と該当する出力表示が点滅し、同時にブザーの連続音でどの出力コネクターに接続されたヘッドに不発光が生じたかを知らせます。

- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。
- 充電完了前に発光操作を行ったときは、不発光警報(FFI)表示と出力表示が点滅し、同時にブザーの連続音で知らせます。

### ■警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後再び発光操作をして正常に発光すると解除されます。

また、メインスイッチ(MAIN)をいったん「OFF」にすることでも解除できます。



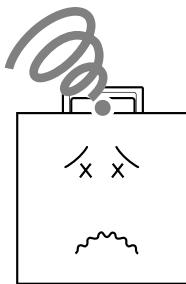
## 15 充電異常警報

ストロボ電源部の充電が所定の時間内に完了しなかったときは、充電異常警報(CHG)表示の点滅とブザーの連続音で知らせ、以後の充電が停止します。

このような症状のときは、内部の故障が考えられますので速やかに使用を中止して、点検・修理を受けてください。

☞ 点検・修理にだされるときは23ページ「保証とアフターサービス」項を参照ください。

- 警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。



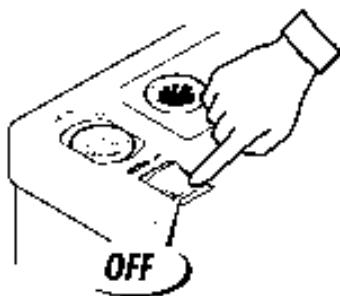
## 16 ヒューズ切れ警報とヒューズ交換

ヒューズが切れたときは該当するヒューズ切れ警報(STR1・STR2・STR3・MOD)表示が点滅し、ブザーの連続音で知らせます。

- この警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。



ヒューズ交換は、メインスイッチ(MAIN)を「OFF」にし、必ずACプラグをコンセントから抜いて行ってください。該当するヒューズホルダーの蓋を④ドライバーで外し、断線したヒューズを同じ定格のヒューズと交換してください。

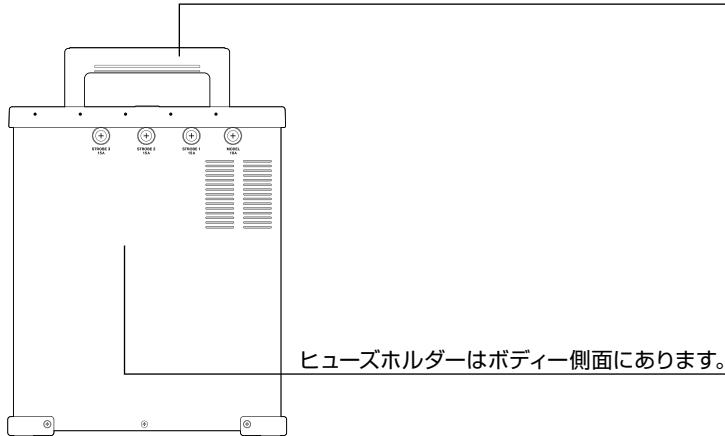


- 予備のヒューズは把手の中に収納されています。上部のカバーを $\ominus$ ドライバーなどで開けて取り出してください。
- モデリングランプのヒューズが切れたときは、モデリングランプスイッチ (MODEL) を「OFF」にすると、ストロボは正常に使用になれます。このとき、警報音は止まりますがヒューズ切れ表示の点滅は続いています。  
ヒューズを交換すると警報ランプは消えます。  
モデリングランプスイッチが「OFF」の時は警報音は出ません。

### ■警報音の停止

各種警報のうちいざれかがはたらいたときは、ランプの点滅、または点灯と警報音で知らせますが、ブザー音のみを止めるときはメンスイッチをいったん「OFF」にし、再び「ON」にする方法の他にパネル上の何かのタッチキーを押すことでも止めることができます。

スペアヒューズは把手の中に収納されています。



	CX-124T	CX-244T
ストロボ (STROBE1/2/3)	15A	15A
モデリングランプ (MOD)	4A	10A

- ヒューズは必ず表示されている定格のものを使用してください。

# 17 保証とアフターサービス

## ■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリー以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならざり生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

## ■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

## ■アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

## ■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、電源部・ご使用中のすべてのヘッド・ヘッドコード・ACコード・シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

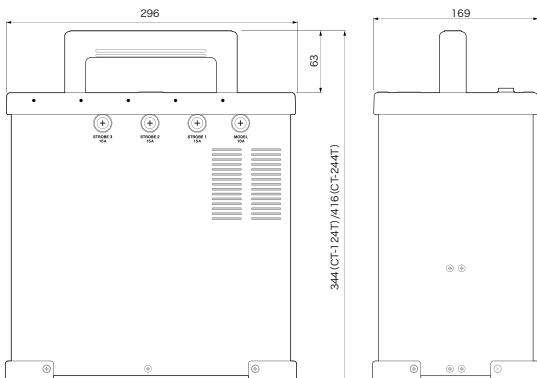
また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

## ■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付しております。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。



# 18 仕様

品名	CX-124T 電源部		CX-244T 電源部
型式	CX-124T		CX-244T
定格電圧	AC100V ±10% 50/60HZ		
ヒューズ定格	ストロボ 15A 3本		ストロボ 15A 3本
最大出力	1200Ws		2400Ws
ストロボ調光方式	電圧調光		
ストロボ調光範囲	FULL～1/8 1/6EV クリック(全19クリック)		
マスター調光	1/6EV クリック(全19クリック)		
出力灯数	4灯 (注)(バイチューブヘッド=2灯/レクト126=1灯)		
出力切替	モードA=(均等)/モードB=(2:1)/モードC(1:1:1)		
出力表示	4桁LED		
モデリング調光モード	VARI/CONST/OFF(1200Wsのみ1/2VARI有り)		
充電時間/モード			
QUICK	1.1秒 30Aで連続発光可 モデリング100W×4	1.8秒 30Aで連続発光可 モデリング250W×2	
S1	2.1秒 20Aで連続10発可 モデリング100W×2	3.7秒 20Aで連続10発可 モデリング250W×2	
S2	4.6秒 20Aで連続発光可 モデリング100W×2	8.7秒 20Aで連続発光可 モデリング250W×2	
S3	12.0秒 20Aで2台連続発光可 モデリング100W×2	23.0秒 20Aで2台連続発光可 モデリング250W×2	
S4	33.0秒 500W発電機で連続発光可 モデリング100W×1	65.0秒 500W発電機で連続発光可 モデリング100W×1	
シンクロソケット	3PBF×2 / ホーンジャック×1		
シンクロ電圧	DC 12V		
フォトセル	内蔵(スイッチ付)		
サウンドモード	充電完了音(READY) / 充電中音(CHG) / OFF		
不発光警報	不発光表示(FFI) ランプ点滅・出力表示点滅・ブザーによる連続音 過熱表示(HEAT) ランプ点滅(警報後20回迄の発光可) ブザーによる連続音		
過熱警報	充電異常表示(CHG) ランプ点滅・ブザーによる連続音		
充電異常警報	ヒューズ切れ表示(STR1・STR2・STR3・MOD)の該当するランプ点滅 ブザーによる連続音		
ヒューズ切れ警報			
冷却ファン	内蔵		
寸法	296(w)×344(h)×169(d)mm	296(w)×416(h)×169(d)mm	
重量	9.5 kg	12.0 kg	

● 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

なお、この仕様は2006年11月現在のものです。

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査
-----	----------------------------	----	----

## ●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	<b>こんな症状はありませんか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スイッチを入れても所定の時間で充電しない</li> <li>●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する</li> <li>●ヒューズがすぐ切れる</li> <li>●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる</li> <li>●その他の異常や故障があるとき</li> </ul>	→	<b>このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。</b>
------	---	---	---

●ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用者の人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1~2回は点検を受けられるようおすすめします。

## アフターサービスについてのご相談は

**COMET**

コメット株式会社

本社／〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6 TEL.03-3264-8621 FAX.03-3264-8624

E-メール mail@comet-net.co.jp インターネットホームページ <http://www.comet-net.co.jp>

札幌営業所	〒 064-0805	札幌市中央区南 5 条西 12 丁目	TEL. 011-561-2488	FAX. 011-563-2620
仙台営業所	〒 981-8003	仙台市泉区南光台 4-29-25	TEL. 022-727-6521	FAX. 022-727-6523
東京営業所 営業課	〒 135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL. 03-5245-3831	FAX. 03-5245-3835
名古屋営業所	〒 464-0075	名古屋市千種区内山 3-1-1	TEL. 052-735-9077	FAX. 052-735-9088
大阪営業所 営業課	〒 550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL. 06-6536-0671	FAX. 06-6536-4020
広島営業所	〒 730-0051	広島市中区江波西 1-7-16	TEL. 082-293-0075	FAX. 082-293-0076
福岡営業所 営業課	〒 812-0042	福岡市博多区豊 2-1-4	TEL. 092-411-1202	FAX. 092-411-1209
東京営業所 コマーシャル課	〒 102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL. 03-3264-8625	FAX. 03-3264-8628
大阪営業所 コマーシャル課	〒 550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL. 06-6536-1667	FAX. 06-6536-4020
福岡営業所 コマーシャル課	〒 812-0042	福岡市博多区豊 2-1-4	TEL. 092-411-1254	FAX. 092-411-1209
海外事業部	〒 102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL. 03-3264-8622	FAX. 03-3264-6385
産業機器部	〒 102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL. 03-3264-8692	FAX. 03-3264-8627
ストロボクリニック部 本部	〒 135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL. 03-5245-3834	FAX. 03-5245-3836